



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成29年2月14日(火) 第2791回 例会 (本年度第26回)

2月28日(火)	インターシティーミーティング
3月7日(火)	新入会員スピーチ 榎本久靜子君
3月14日(火)	うどん打ち家族例会
3月21日(火)	ゲストスピーチ 木を使って電気を起こす 高橋氏(新庄市在住)

Eメール@tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ@http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長／加藤 亨

立春は過ぎましたが、朝は路面凍結したかと思うと日中は雨になってみたり、日が出てみたりなかなか天気が落ち着きませんがもう少しの辛抱だと思います。

先週の土曜日は恒例の大山新酒祭りで大賑わいでした。毎年の事ながらあの寒空に各酒蔵の酒を楽しみに並ぶのは大変なことだと思います。

話は変わりますが、私の会社でも今年定年退職を迎える方の慰労会を行いました。私は初参加だったので、先輩方がバリバリ仕事をこなしていた頃の話を聞きながら、確かに私の若い頃には色々叱られたり、無茶なことをやっていたのだと改めて感じさせられました。

最近はなかなか若い世代も少なくなり、団塊の世代の方々も退職を迎えるようになり、社員数も以前より大幅に少なくなりましたので仕事の進め方も様変わりをしてきてています。特に建設業は慢性的人材不足で過重労働になってきています。政府も働き方改革といって残業に対する規制強化を進めています。慰労会でも話題になりましたが、以前は仕事が忙しいときは残業や休日作業は当たり前でした。

今も建設業はこの状況が大きく変わることがなく、パソコンなどの普及で図面作成や、事務作業は多少効率化されてきていますが、現場作業はいくらコンピューターが進化してもなかなか効率化がされないのが現状です。

コンピューター内のデーターで処理できるような、「スポーツの審判」等の様にアウト、セーフがはっきりしていればコンピューターで仕事が出来ると思いますが、コンピューター内のデーターだけでは判断できない肉体労働の効率は上げることが出来ない

ので人が大事になります。

最後に連絡ですが、当初本日予定していたクラブ協議会は次年度の計画の検討を行うために PETS 終了後、藤川パストが出席できる 3 月 21 日の例会終了後に行いますので皆さん予定に入れてください。

幹事報告

会長／富田 喜美子

○東江戸川ロータリークラブ

観桜会のご案内

日時：3月25日(土) 午後5時30分集合

場所：屋形船あみ達

登録料：未定（後日連絡します）

宿泊料：7,200円 瑞江第一ホテル

○酒田中央ロータリークラブ

酒田中央ロータリークラブ創立30周年

記念式典並びに祝賀会のご案内

日時：4月22日(土) 午後2時30分

場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田

登録料：一人11,000円

○ロータリーの友

ロータリー手帳お買い上げのお願い

1冊600円+消費税(送料別)

想いを、未来のカタチに

鶴岡青年会議所理事長 井上 貴利氏

先輩方の前でスピーチすることに緊張しています。簡単に自己紹介をさせて頂きます。私は藤島の渡前生まれです。庄内農業高等学校卒業後、家業である井上農場で働き始めました。早く実践を通して成長したいと考え進学はしませ



出席報告

会員数	34名
出席	21名
出席率	72.41%
前々回確定出席率	86.21%

■RI会長 ジョン・F・ジャーム ■地区ガバナー 長谷川 憲治

■会長／加藤 亨 ■副会長／武田啓之 ■幹事／富田喜美子 ■会長エレクト／木村 節
■会報委員会／阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

んでした。今は全国各地の研修会に行って勉強したり、稲作経営会議青年部で東北の副会長をさせて頂いています。

井上農場は、小さい農家から始まって、今は 50 ヘクタールの田圃で農作業をしています。井上農場のモットーは「家族に食べさせたい」です。井上家の食卓はいつも笑顔にあふれています。食卓が笑顔なのは、おいしいのはもちろん家族が健康だからです。皆様に家族と同じ笑顔をお届けしたい。そのため良質な有機質肥料を使い、減農薬で育てています。販売のほうも頑張っています。井上農場の米、野菜は当農場で全て販売しています。また廃棄物をなくしたいという事から加工品も手掛けるようになりました。6 次産業とよく言われますが、当農業では加工品をつくるのに地元のお菓子屋さんだったり加工場とコラボして製品を作っています。お米の加工品として鯉川酒造さんの「別嬪」は井上農場との共同開発です。井上農場の夢は経営面積 100 ヘクタールを目指し、若者が夢を持って入ってくれようになることです。そのためにスタッフ皆で頑張っているところです。

では、鶴岡青年会議所の話をさせて頂きます。昨年副理事長をさせてもらい、2017 年 1 月 1 日から理事長を拝命しています。簡単に活動方針を述べさせていただきます。

I、あふれる未来

地域に住む大人が子供たちを温かく見守り、積極的にかかわって明るく元気な子供を育てていかなければなりません。私たち自身が子供たちの未来を担っていることを認識し行動していきます。今年もわんぱく相撲鶴岡場所を開催します。話がそれますが、先日大岩戸の後援会に行き、副会長になってしました。阿蘇先輩から大岩戸の話をするように言われていました。カレンダーと番付表を後でお届けいたします。

II、地域のビジョンを創造できる街へ

鳥海山、出羽三山、日本海に抱かれ、米どころとして有名な庄内では、米以外にもたくさんの優れた資源にあふれています。そんな地域の素晴らしさを伝えたい想いから、食の都庄内を発信しています。近年どうしても外向けに発信する手法を創造しがちですがまずは、この地域に住む人々がその豊かさに自信を持ち、魅力を認識し、もっと身近に感じることが必要です。そこから地域力が生まれ県内外にも発信していくと考えます。

III、さらなる未来強化

我々が青年会議所運動を継続して行えるのは、同じ志を持つ仲間が多くいるからです。青年会議所は 20 歳から 40 歳までの青年で構成され、組織は毎年変わります。毎年新たな仲間を迎え入れるとともに 40 歳で卒業します。この単年度制と卒業が組織の活性化を促します。

近年会員数が減少傾向がある中、会員拡大は最も重要です。業種、地域、年代など多くの共通点を持った仲間が交流することで、青年会議所運動への共感の輪を広げ、会員拡大を進めていきます。鶴岡ロータリーの皆さん、是非一人でも多くの青年を紹介下さるようお願いいたします。

iv、地域から誇れるまち

昨年の赤川花火大会では皆様に心配をおかけしました。大会運営をするうえで組織の見直しと、市民・行政との連携を密にし、より安全な大会構築を行ってまいります。そして鶴岡の夏を盛り上げさらなる地域の発展につなげていきます。

今年度の鶴岡青年会議所スローガンは「想いを、未来のカタチに」～行動こそが歩みを創る～です。行動することで青年会議所もよくなり、自分たちも成長できると思っています。

結びに明るい未来を創造していくためには、一人ひとりが当事者として、このまちと、そこに住む人々を想い、夢と希望を持つことから始めなければと思っています。青年会議所には志を同じくする仲間が大勢います。同志とともに切磋琢磨し、議論を重ねながら一人ひとりが率先して行動していくことで、地域の発展と市民の意識変革につながります。我々が行動を起こし成長・挑戦することが未来のカタチを創ります。

私たちは皆様方諸先輩たちから叱咤激励をいたきたいと思っています。まずは 2017 年度、77 名が必死で活動していきますので 1 年間よろしくお願いいたします。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

青年会議所理事長 井上貴利氏
青年会議所専務理事 佐藤 航氏

◆メイクされた方

本間厚君 佐藤友行君 佐藤孝子君 武田啓之君
菅原成規君 富樫松夫君 阿蘇司朗君 加藤亨君
富田喜美子君

スマイル

佐藤孝子君 井上農場のお米、とってもおいしく皆さんに送って喜んでもらっています。佐藤専務理事から息子と同級生ですとご挨拶頂きとても嬉しかったです。

富田喜美子君 これからもおいしい米、野菜作りに励んでください。

加藤 亨君 息子にお祝いをいただきありがとうございました。佐藤さん有難うございました。

JC 卒業後はぜひ鶴岡 RC に入会してください。